

淡江大學 104 學年度第 2 學期課程教學計畫表

課程名稱	21 世紀亞洲情勢與日台產學官合作	授課 教師	石田光義 ISHIDA MITSUYOSHI
	JAPAN-TAIWAN CAPSTONE PROGRAM IN 21 CENTURY ASIA SITUATION		
開課系級	亞洲碩日研一 A	開課 資料	選修 單學期 2 學分
	TIIAM1A		
系 (所) 教育目標			
培育國內外通曉日本政經之高級實務與學術人才，並導引師生致力於日台法政與經貿關係之發展，協助促進國家安全與發展。			
系 (所) 核心能力			
A. 通過英檢中級初試及日檢二級。			
課程簡介	<p>アジアの各国の発展は著しい。台湾と日本の協働は、これまで以上に緊密かつ強力でなければならない。我々は、政治、経済、社会、文化など、各分野で活躍するトップリーダーから、今後のアジア情勢の中で台湾と日本の協働についての展望を直接聞く。本講座は日本語で行う。</p>		
	<p>Development of each country of Asia is remarkable. Collaboration of Taiwan and Japan must be close and powerful more than the former. We hear the view about collaboration of Taiwan and Japan from the top leader which plays an active part in each field, such as politics, economy, society, and culture, directly in the future situation of Asia. This lecture is performed in Japanese.</p>		

本課程教學目標與目標層級、系(所)核心能力相關性

一、目標層級(選填)：

- (一)「認知」(Cognitive 簡稱C)領域：C1 記憶、C2 瞭解、C3 應用、C4 分析、C5 評鑑、C6 創造
- (二)「技能」(Psychomotor 簡稱P)領域：P1 模仿、P2 機械反應、P3 獨立操作、P4 聯結操作、P5 自動化、P6 創作
- (三)「情意」(Affective 簡稱A)領域：A1 接受、A2 反應、A3 重視、A4 組織、A5 內化、A6 實踐

二、教學目標與「目標層級」、「系(所)核心能力」之相關性：

- (一)請先將課程教學目標分別對應前述之「認知」、「技能」與「情意」的各目標層級，惟單項教學目標僅能對應C、P、A其中一項。
- (二)若對應「目標層級」有1~6之多項時，僅填列最高層級即可(例如：認知「目標層級」對應為C3、C5、C6項時，只需填列C6即可，技能與情意目標層級亦同)。
- (三)再依據所訂各項教學目標分別對應其「系(所)核心能力」。單項教學目標若對應「系(所)核心能力」有多項時，則可填列多項「系(所)核心能力」。(例如：「系(所)核心能力」可對應A、AD、BEF時，則均填列。)

序號	教學目標(中文)	教學目標(英文)	相關性	
			目標層級	系(所)核心能力
1	正確な現状分析および独創性の中で満たされた、台湾と日本の協働についての将来設計能力。	The design capability towards the future of the collaboration of Taiwan and Japan to have been filled in exact present data analysis and originality.	C4	A

教學目標之教學方法與評量方法

序號	教學目標	教學方法	評量方法
1	正確な現状分析および独創性の中で満たされた、台湾と日本の協働についての将来設計能力。	討論、問題解決	上課表現

本課程之設計與教學已融入本校校級基本素養

淡江大學校級基本素養	內涵說明
◆ 全球視野	培養認識國際社會變遷的能力，以更寬廣的視野了解全球化的發展。
◇ 資訊運用	熟悉資訊科技的發展與使用，並能收集、分析和妥適運用資訊。
◆ 洞悉未來	瞭解自我發展、社會脈動和科技發展，以期具備建構未來願景的能力。
◇ 品德倫理	了解為人處事之道，實踐同理心和關懷萬物，反省道德原則的建構並解決道德爭議的難題。
◆ 獨立思考	鼓勵主動觀察和發掘問題，並培養邏輯推理與批判的思考能力。
◇ 樂活健康	注重身心靈和環境的和諧，建立正向健康的生活型態。
◇ 團隊合作	體察人我差異和增進溝通方法，培養資源整合與互相合作共同學習解決問題的能力。
◇ 美學涵養	培養對美的事物之易感性，提升美學鑑賞、表達及創作能力。

授課進度表

週次	日期起訖	內容 (Subject/Topics)	備註
1	105/02/15~ 105/02/21	Capstone Program Top Seminar の説明と産学官協働連携の意義について	
2	105/02/22~ 105/02/28	アジアの文化の中の台湾と日本 (桜美林大学教授 小熊 旭)	
3	105/02/29~ 105/03/06	台湾と日本協働のこれまでとこれからについて整理	
4	105/03/07~ 105/03/13	地方自治体に出来ること (日本富士之國静岡縣駐台辦事處 宮崎悌三)	
5	105/03/14~ 105/03/20	企業活動を通してみる台湾と日本 (パイロット-百樂就是好筆- 横井秀雄)	
6	105/03/21~ 105/03/27	産学連携ベンチャー企業の可能性 (エーベル・バイオクリーン 安倍守利) (アイエスゲート 小林俊哉)	
7	105/03/28~ 105/04/03	ジャーナリストの視点からの台湾日本関係 (元東京新聞・中日新聞記者 迫田勝敏) 予定	
8	105/04/04~ 105/04/10	振り返りと展望	
9	105/04/11~ 105/04/17	企業活動を通してみる台湾と日本 (オムロン-臺灣歐姆龍 神尾幸孝) 予定	
10	105/04/18~ 105/04/24	前半の振り返りとまとめ	
11	105/04/25~ 105/05/01	企業活動を通してみる台湾と日本 (臺灣JTB 里村周亮)	
12	105/05/02~ 105/05/08	企業活動を通してみる台湾と日本 (台北東海扶輪社 林 俊宏) 予定	

13	105/05/09~ 105/05/15	台灣と日本興隆の歴史をふまえて (臺灣傳統基金會 黃石城) 予定	
14	105/05/16~ 105/05/22	政治と經濟の台灣日本交流 (新臺灣國策智庫 李明峻) 予定	
15	105/05/23~ 105/05/29	企業活動を通してみる台灣と日本 (サダマツ - Festaria Bijou Sophia - 貞松豊三)	
16	105/05/30~ 105/06/05	台灣と日本の人的往来と文化交流 (元頼灣日本人會總幹事 山本幸男) (インテリジェンス 都築)	
17	105/06/06~ 105/06/12	産学官協働連携による人材育成の在り方について	
18	105/06/13~ 105/06/19	振り返りとまとめ	
修課應 注意事項	質疑応答に際して活発な意見表明と議論を期待します。		
教學設備	電腦、投影機		
教材課本			
參考書籍			
批改作業 篇數	篇 (本欄位僅適用於所授課程需批改作業之課程教師填寫)		
學期成績 計算方式	◆出席率： 20.0 % ◆平時評量：40.0 % ◆期中評量： % ◆期末評量： % ◆其他〈意見表明〉：40.0 %		
備考	「教學計畫表管理系統」網址： http://info.ais.tku.edu.tw/csp 或由教務處首頁〈網址： http://www.acad.tku.edu.tw/CS/main.php 〉業務連結「教師教學計畫表上傳下載」進入。 ※不法影印是違法的行為。請使用正版教科書，勿不法影印他人著作，以免觸法。		